

湿原の天の川

背丈が20～40cmの長い茎の先に、直径1cmほどの小さな白色の花。吹く風に秋の気配が感じられる8月下旬になると、陶史の森の湿地で、夜空に散りばめられた星のような花に出会うことができます。1つ1つ目を凝らしてよく見ると、白い短い毛が密生していて、ゴツゴツしたお星さまのように見えます。「シラタマホシクサ（白玉星草）」です。金平糖草（コンペイトウソウ）とも呼ばれています。

シラタマホシクサはホシクサ科の1年草で、伊勢湾近くの愛知・三重・静岡そして岐阜県の鉄分の多い酸性土壌の湿原にしか生息していません。かつては子どもの草遊びに使われたシラタマホシクサも、今では環境省の絶滅危惧種Ⅱ類（VU）に指定され、絶滅の危険が心配されています。湿地の分断化や周囲の環境破壊、植生の遷移による被陰、外来種の移入により固有の湿地環境が失われつつあることなどが原因だといわれています。

今日もどこかで、美しい自然が失われています。どんな植物・動物が絶滅危惧種に指定されているのか知っていますか？意外と身近な動植物が指定されているかもしれません。それを知ることが、環境を守る第一歩になるのだと思います。



森	の
日	記

草花標本づくり教室 7月8日(日)

「草花の標本づくり」は、新聞紙に挟み込んで本などで重しをし、1週間～10日間程、毎日新聞紙を交換して植物の水分を取り除かなければならない、時間のかかる作業です。



さて、ここで裏ワザ。植物の水分は、電子レンジを使って飛ばすことができます。今回の教室では電子レンジを使った標本作りを紹介しました。所要時間は約1時間。参加した方は「こんなに簡単で、こんなにきれい！」と大変喜んでいました。

お知らせ

「陶史の森 道のり図」が完成しました！
第1駐車場からのおおよその道のりを示してあります。健康づくりのためのウォーキングやハイキングなどにご活用ください。
ご希望の方は、ネイチャーセンターまで。

教室のご案内

9月

- 草木染め教室(要申込・定員20人)
9月9日(日)9:00～11:30
草や木の色素で白い布を染色
- バードウォッチング(自由参加)
9月23日(日)9:00～11:30
初秋の野鳥を観察(雨天中止)

10月

- 鳴く虫教室(要申込・定員20人)
10月14日(日)9:00～11:30
秋に鳴く虫を探し、音色を楽しむ
- きのこ教室(要申込・定員20人)
10月21日(日)9:00～11:30
陶史の森に生えるキノコの観察
- バードウォッチング(自由参加)
10月28日(日)9:00～11:30
秋の野鳥を観察(雨天中止)

— イベント情報 —

陶史の森まつり 9月8日(土)